

令和元年度上半期 保険診療委員会活動報告

委員長：今泉益栄、副委員長：田内久道

委員：小川千登世、小川淳、加藤剛二、伊勢一哉、中山秀樹、後藤裕明

1. 診療保険関連事項

- 免疫遺伝子再構成を利用した定量PCR法による微小残存腫瘍検査(PCR-MRD)

- (1) 2019年度PCR-MRD検査施設の学会新規認定(2019年2月1日)

株式会社ビー・エム・エル BML 総合研究所

エスアールエル遺伝子・染色体解析センター

- (2) 2019年度のPCR-MRD検査施設の学会認定更新

愛知医科大学病院、独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

- (3) 厚生労働省への学会要望

「骨髄微小残存病変量測定の保険適用検査が継続できる体制」

2. 2020年度診療保険改訂に向けた内保連要望

- (1) FDG-PET検査のDPC包括範囲からの除外(当学会、日本核医学学会)

- (2) 遺伝学的検査拡大(難病等)(日本人類遺伝学会、内保連小児関連委員会)

- (3) 特定薬剤治療管理料対象薬としてブスルファン注射薬の追加(日本造血細胞移植学会、当学会)

- (4) 遺伝性腫瘍の遺伝学的検査(日本人類遺伝学会、内保連小児関連委員会)

- (5) がん遺伝子パネル検査のDPCにおける算定取り扱いの要望書(当学会要望書)

2. 「医療上必要性が高い未承認薬・適応外薬検討会議」対応と公知申請

1. テモゾロミドの再発又は難治性のユーリング肉腫への適応拡大: JCCG参加施設への実態調査を踏まえて公知申請し、2019年2月適応拡大が承認。

2. 小児造血細胞移植患者における静注用ブスルファンの1日1回法: JCCG施設二次調査の使用実態(6施設35例)を解析し、公知申請の準備。

3. 再発・難治性急性骨髓性白血病に対するFLAG療法の使用実態調査: JCCG施設二次調査を実施し、公知申請の準備。

4. 神経芽腫に対するイソトレチノイン(isotretinoin, 13-cis-retinoic acid): 初回申請は要望区分の違いで公知申請の対象外と判定されたため、改めて「未承認薬速実用化スキーム対象品目」として再申請。

5. 小児ITPに対するリツキシマブ、エルトロンボパグ、ロミプロシチム: 成人ITPに保険適応がある3薬剤に関して、当学会として血小板委員会から公知申請。

3. その他

1. 厚生労働省要望

- NUDT15 遺伝子多型検査試薬の早期承認および保険適用
 - ブリナツモマブ製剤の携帯型精密輸液ポンプ適応
2. 小児医薬品開発ネットワーク事業（日本小児科学会指導の AMED 「臨床研究・治験推進研究事業」）参加（継続）
- 課題：「小児領域における新薬開発促進のための医薬品選定などの研究」
 - 検討薬剤：難治性 AML に対する分子標的療法薬剤の治験

以上